

# 大阪民衆史研究会報

2024年12月号

第31巻第11号

(通巻351号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

## 例会のお知らせ

### ◇12月例会

日時 12月22日(日) 午後1時半開場、2時開会 府教育会館3F蘭の間  
報告 中田 進さん(本会会員・勤労者教育協会副会長)

#### 「古家(ふるいえ)実三の人と生涯から学ぶ」

この12月で100歳を迎える大阪民衆史研究会会員・木津力松氏が古家実三氏の日記・手帳をはじめ多くの資料をもとに研究し、『古書店白雲堂「古家実三日記抄」兵庫無産階級運動の歴史的解明』を、文理閣から出版されました。

「古家(ふるいえ)実三」(1890~1966)の日記は、1906年から1966年までの60年間、167冊にもなる膨大なものです。古書店「白雲堂」の店主として高い志を持って国内はもとより朝鮮・中国東北部・台湾にまで足を運び、貴重な文献を収集しています。兵庫県青年党やサラリーマン・ユニオン結成はじめ、弾圧に抗し労農党再建など階級闘争に参加しています。

兵庫県民運動史の研究者の木津さんは加西郡郷土研究会を創立し、『播磨郷土研究』を刊行した古家氏の功績を高く評価しています。大阪民衆史研究会のみなさまに、木津さんの著書の普及を心よりお願いします。(本は12月22日会場で販売しますが、事前予約の方には1万円で4冊送ります。郵便振替口座00960-2-9170 関西勤労者教育協会)

### ◇1月例会

日時 1月18日(土) 午後1時半開場、2時開会 府教育会館3F桜の間  
報告 浅井義弘さん(大阪歴史教育者協議会)

#### 「地域にねざす歴史学習-ワタづくりから学ぶ、歴史総合と日本史探究をむすんで」

近世のワタ作りの研究調査から日本の近現代史の流れを世界史的観点からも見る。大阪府立高等学校での歴史総合や日本史探究など最近の新しい歴史科目の実践にもとづく報告。(詳細は次回)

参加費は会員400円、非会員500円